



Profile

株式会社青い鳥さぽーと企画 障害福祉サービス事業所 令和たけのこの里

令和たけのこの里は、竹林の整備や竹を利用した製品の開発と製作、販売を行うことにより、SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標のうち、目標13.『気候変動に具体的な対策を』、目標15.『陸の豊かさを守ろう』に力を注いでいる。



地域資源の竹林を守り 誰もが幸せに暮らせる 地域社会の復活を目指す

かつて、竹林で栄えた『令和たけのこの里』のある福井町。現在では、後継者等の不足から放置竹林が増えている。福井町は、かつて竹ぼうきの産地で多くの職人がいたが、外国産と高齢化でその技術を未来へ伝承することが風前の灯火となっていた。『令和たけのこの里』では、障がい福祉サービスの一環として利用者による竹林整備を手がけ、その副産物として発生する竹材を用いて竹パウダー製造、竹炭材料加工、加えて、今や看板製品とも言うべき竹ぼうきの製作販売を行っている。

竹の伐採後、枝打ちした際にできる笹や細材を利用して竹ぼうきを製作している。当初は、ボランティアの職人の指導を受けながらの作業に、四苦八苦の状態であきらめかけた時期もあった。しかし、試行錯誤しながら、今では用途に応じた数種類の製品が出来上がり、「ホームセンターで売られている製品よりもしっかりとした作りで見た目も満足！」と坂本純一施設長も自負する。また、商品として仕上げることは施設利用者にとっても達成感から生き甲斐にもなっている。今後もこの恵まれた資源を未来へ残し、施設利用者が地域と繋がり、心豊かに暮らせるよう事業を継承していく決意である。